

令和7年度第1回朝霞市総合福祉センター運営協議会

次 第

日 時：令和7年7月23日（水）

午後2時30分から

会 場：朝霞市総合福祉センター

第1・2会議室

1 開 会

2 配付資料等の説明

3 議 題

令和6年度朝霞市総合福祉センター事業報告

令和7年度朝霞市総合福祉センター事業計画

4 閉 会

令和 6 年度朝霞市総合福祉センター事業報告
(令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月)
令和 7 年度朝霞市総合福祉センター事業計画

各施設利用状況	．．．	1
令和 6 年度総合福祉センター事業別収支状況	．．．	2
①総合福祉センター管理事業	．．．	3～4
②はあとぴあ福祉作業所	．．．	5～9
③はあとぴあ障害者就労支援センター事業	．．．	10～13
④はあとぴあ障害者相談支援センター事業	．．．	14～17

朝霞市総合福祉センター各施設年度別利用状況

※3月末

事業名		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①会議室		512件	542件	514件	569件	564件
		4,717人	4,525人	4,621人	5,364人	5,655人
事業名		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
②障害者多機能型施設 はあとぴあ福祉作業所	利用者数	(定員80人)				
		63人	62人	60人	60人	61人
	(利用者の延べ人数)	12,667人	12,792人	13,040人	12,640人	12,492人
	喫茶室（お花畑）の運営	1,027人	1,221人	1,842人	2,061人	1,621人
	売店（はっぴい）の運営	1,926人	2,357人	2,513人	3,119人	2,661人
	売店（ル・クール）の運営	856人	228人	190人	3,137人	2,847人
事業名		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
③障害者就労支援センター		1,698件	1,720件	2,323件	2,553件	2,061件
④障害者相談支援センター		5,252件	5,571件	6,826件	6,090件	5,632件

令和6年度総合福祉センター事業別収支状況

単位：円

①総合福祉センター管理事業

項 目	予 算	決 算
収 入	130,194,000	130,192,530
支 出	130,194,000	121,985,347
収 支	-	8,207,183

②はあとぴあ福祉作業所

項 目	予 算	決 算
収 入	304,121,000	303,607,765
支 出	304,121,000	295,843,552
収 支	-	7,764,213

③障害者就労支援センター事業

項 目	予 算	決 算
収 入	26,657,000	26,657,000
支 出	26,657,000	26,529,298
収 支	-	127,702

④障害者相談支援センター事業

項 目	予 算	決 算
収 入	42,271,000	43,703,759
支 出	42,271,000	41,222,414
収 支	-	2,481,345

①総合福祉センター管理事業 令和6年度事業報告

(4月～3月)

事業名	実施日		内 容	参加人数	講 師 等
	月	日			
はあとぴあふれあい祭り 担当者会議	6	20	はあとぴあふれあい祭りを開催するために、事前の協議及び打合せ等を行う。	69人	
	7	4			
	8	27			
	9	19			
	10	17			
	11	7			
	11	20			
	12	10			
	2	13			
	3	13			
はあとぴあふれあい祭り	11	23	障害の有無や世代に関わらず交流を図ることを目的として、模擬店、アトラクション、展示、体験等を行う。	1,346人	
消防訓練	5	23	消火栓の説明、水消火器を使用した消火訓練を実施。	13人	
	6	6	防災監視盤の操作説明、通報訓練を実施。	8人	
	10	3	ブラインド避難訓練（地震・火災想定）を実施。 ※ブラインドとは、事前の指導を行わない訓練。事前にマニュアル等の配布なし。	110人	
	10	3	消火栓の説明、水消火器を使用した消火訓練を実施。	14人	
	3	14	ブラインド避難訓練（火災想定）を実施。	110人	
洪水時等の避難確保計画による訓練	6	14	大雨による洪水等を想定した情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施。	12人	
施設見学の受入れ	9	3	民生委員児童委員協議会東部地区の見学受入れを行う。	22人	
	10	9	横浜市戸塚第一地区社会福祉協議会の見学受入れを行う。	37人	
	11	20	朝霞第三小学校2年生の見学受入れを行う。	38人	

①総合福祉センター管理事業 令和7年度事業計画

事業名	実施日		内容	参加人数	講師等
	月	日			
消防訓練	9		通報訓練・避難訓練・消火訓練を年2回以上実施予定。 (火災・地震・水害のいずれかを想定)		朝霞消防署浜崎分署
	3				
第20回 はあとぴあふれあい祭り 担当者会議	5月～3月		祭りを開催するために事前の協議及び打合せ等を行う。反省会を含めて年10回程度開催予定。		
第20回 はあとぴあふれあい祭り	11	23	模擬店、アトラクション・展示・体験等を行う。		
施設見学受入れ	随時		学校・市役所等からの受入れを行う。		

②はあとぴあ福祉作業所 令和6年度事業報告

事業名	実施日	内容	参加人数
	月		
保護者懇談会	4月20日	令和5年度事業報告・令和6年度事業計画	31人
個別面談	5月27日～7月5日	これまでの評価と今後の支援内容を決定する面談を利用者・保護者・職員で行う。	126人
歯科検診	5月30日、6月6日	歯科医検診・衛生士ブラッシング指導	57人
彩夏祭「鳴子踊り」	8月3日	彩夏祭で「鳴子踊り」を楽しむとともに地域の人々との交流・親睦を図る。	24人
健康診断	9月9日	利用者の健康管理・健康保持「定期健康診断・血液検査・心電図・問診」（健診車検査あり）	56人
みらくる♪笑顔の会（生活）	9月30日	レクリエーションを行い、職員と利用者・保護者との交流を深める。	36人
消防訓練（総合福祉センター）	10月3日、3月5日	通報訓練・避難訓練・消火訓練 年2回以上（火災・地震・水害のいずれかを想定）	101人
避難訓練（はあとぴあ福祉作業所）	6月17日、9月26日、10月30日（2回）、3月5日・14日・17日	緊急時の大きな環境の変化を繰り返し体験し、実際の災害時に慌てず安全に避難できるよう実施。（火災・地震・水害のいずれかを想定）シェイクアウト訓練の実施。BCP訓練として、職員の安否確認訓練を実施。	282人
日帰り課外体験研修	10月21日・25日・28日	日帰り課外体験研修を通し、施設外での社会体験、社会のルールの習得を図る。また、気分転換を図ることで、日々の生活の活性化を目指す。	54人
赤い羽根共同募金街頭募金	10月7日・17日	街頭募金を通じて社会参加を促し、奉仕活動を行う。	37人
個別面談	11月8日～12月13日	これまでの評価と今後の支援内容を決定する面談を利用者・保護者・職員で行う。	121人
新年交流会（就B）	1月10日	レクリエーションを行い、職員と利用者・保護者との交流を深める。	41人
利用者満足度調査	1月	施設運営に関するアンケート調査	61人
内科健診	3月11日・12日	健康管理・健康保持のための医師による診察・問診	52人
みらくる♪笑顔の春（生活）	3月13日・18日・21日・24日・25日・26日	レクリエーションや外出、買い物など自ら参加したい企画を選ぶ意思決定の機会を提供するとともに、1年間の労をねぎらい、利用者たくさんの笑顔あふれる時間を過ごす。	29人
お疲れ様会（就B）	3月31日	1年の労をねぎらうとともに次年度の通所・作業への意欲向上を目的とし、茶話会を行う。	30人
施設通信（通年）	1回/月	施設だより 就B：あすのび通信、生活：みらくる通信の発行・配布	———
誕生日会（通年）	1回/月	喫茶の飲み物と手作りデザート、売店での買い物、誕生日カード製作で誕生日をお祝する。	61人
生活習慣病予防事業（通年）	1回/月	生活習慣病予防準備の利用者を対象に運動を行い、健康・体力の増進を図る。 ※外部講師による実施事業	292人
精神科診察（通年）	1回/月	利用者本人の安定を図るとともに支援方法の助言をいただくことを目的に、医師による診察を精神的に不安定な利用者に行う。また、保護者が相談できる場とする。	13人
理学療法（生活）	1回/月	利用者の基本能力・応用能力・社会生活適応能力の維持、改善を目的とし、理学療法士による機能訓練を行う。支援方法についての指導をいただく。	14人
作業療法（生活）	1回/月	利用者の基本能力・応用能力・社会生活適応能力の維持、改善を目的とし、作業療法士による機能訓練を行う。支援方法についての指導をいただく。	40人
音楽療法（生活） ※コラボ音楽会含む	1回/月	コミュニケーションの相互作用を促し、感情表現、言語の表出を高める等、楽しみながら生活の質の向上を図ることを目的とし、外部講師が楽器演奏、歌唱指導を行う。	162人
感覚統合療法（スヌーズレン）（生活）	随時	感覚的能力の向上、心身の安定を目指し、潜在能力を発揮できることを目的とし、感覚刺激空間を提供する。	208人
健康増進体操（生活）	1回/月	身体を動かすことで心身の活性化を図るとともに、健康の維持・増進を目的として、外部講師による体操を行う。	226人

社会生活力勉強会（通年）	5回/年	社会生活をするうえでの基本的なルールやマナーの習得や自立意識の醸成を図る。 ※外部講師による実施事業	79人
あすのび余暇活動（就B）	11月22日、12月23日、2月17日	施設内でのレクリエーションや外出することで、仕事では得られない学びや心身のリフレッシュを図る。	88人
季節行事（生活）	8月21日、12月20日・4日、1月6日・7日・10日	季節のレクリエーションを通じて心身の活性化を図る。 （夏祭り、コーポ音楽会、クリスマス会、初詣）	92人
グループ外出（生活）	数回/年	リフト車も使用し、グループに分かれての外出を実施。 （外出先：カインズ、サーティーワン）	29人
売店「はっぴい」の運営（通年）	183日	売店業務で施設外部との関わりを通じ、利用者の社会性を養う。 また、施設の取組みの周知も兼ねて外部出店を行う。	210人
売店「はっぴい」の運営（出張販売）	12回	市役所出店、出張販売等	41人
喫茶室「お花畑」の運営（通年）	159日	喫茶業務で施設外部との関わりを通じ、利用者の社会性を養う。 また、施設の取組みの周知も兼ねて外部出店を行う。	238人
T S テック売店カフェの運営（通年）	232日	市内の企業 T S テック内の社員食堂にて売店カフェの運営をあさか福祉作業所と共同で行う。	231人
ふれあい花壇	従事日数：82日	ふれあい花壇植栽管理（植苗・灌水等）	315人
朝霞駅南口花壇・朝霞市役所正面花壇	従事日数：51日	朝霞駅前花壇植栽管理（植苗・灌水等）・市役所正面花壇の植苗	89人
職員会議	月1回	年間計画・虐待防止・職員研修等	250人
主任以上会議	月1回	執行部会議報告、事業運営、職員会議について	156人
主任職等連携会議	月1回以上（18回）	生活介護の支援について等	115人
生活支援員会議	4月23日、9月25日	個別面談について	11人
作業支援員会議	4月11日、6月13日、11月15日	就B作業室の運営について等	26人

②はあとぴあ福祉作業所 喫茶室「お花畑」利用状況

4年度	営 業 日 数	一般来店者数	出 前 数	合 計	金 額	1人当たり平均
	231日	117人	1,725人	1,842人	686,350円	373円
月 平 均	19日	10人	144人	154人	57,196円	
日 平 均		1人	7人	8人	2,971円	

5年度	営 業 日 数	一般来店者数	出 前 数	合 計	金 額	1人当たり平均
	220日	320人	1,741人	2,061人	749,840円	364円
月 平 均	18日	27人	145人	172人	62,487円	
日 平 均		1人	8人	9人	3,408円	

6年度	営 業 日 数	一般来店者数	出 前 数	合 計	金 額	1人当たり平均
	159日	269人	1,352人	1,621人	480,682円	297円
月 平 均	13日	22人	113人	135人	40,057円	
日 平 均		2人	9人	10人	3,023円	

はあとぴあ福祉作業所 売店「はっぴい」利用状況

4年度	営 業 日 数	来店者数	金 額	1人当たり平均
	185日	2,513人	2,707,167円	1,077円
月 平 均	15日	209人	225,597円	
日 平 均		14人	14,633円	

5年度	営 業 日 数	来店者数	金 額	1人当たり平均
	189日	3,119人	3,847,570円	1,234円
月 平 均	16日	260人	320,631円	
日 平 均		17人	20,358円	

6年度	営 業 日 数	来店者数	金 額	1人当たり平均
	183日	2,661人	3,484,925円	1,310円
月 平 均	15日	222人	290,410円	
日 平 均		15人	19,043円	

はあとぴあ福祉作業所 カフェ・売店「ル・クール」利用状況

4年度	営 業 日 数	一般来店者数	出 前 数	合 計	金 額	1人当たり平均
	18日	173人	17人	190人	646,593円	3,403円
月 平 均	2日	14人	1人	16人	53,883円	
日 平 均		10人	1人	11人	35,922円	

5年度	営 業 日 数	一般来店者数	出 前 数	合 計	金 額	1人当たり平均
	214日	2,506人	631人	3,137人	758,146円	483円
月 平 均	18日	209人	53人	261人	63,179円	
日 平 均		12人	3人	15人	3,543円	

6年度	営 業 日 数	一般来店者数	出 前 数	合 計	金 額	1人当たり平均
	232日	2,137人	710人	2,847人	736,980円	518円
月 平 均	19日	178人	59人	237人	61,415円	
日 平 均		9人	3人	12人	3,177円	

※収入はあさか福祉作業所と折半したものを計上しています。

②はあとぴあ福祉作業所 令和7年度事業計画

事業名	実施日	内容	参加予定数
	月		
保護者懇談会	4月	令和6年度事業報告・令和7年度事業計画	30人
個別面談	5月 6月	これまでの評価と今後の支援内容を決定する面談を利用者・保護者・職員で行う。	120人
歯科検診	6月	歯科医検診・衛生士ブラッシング指導	61人
彩夏祭「鳴子踊り」	8月	彩夏祭で「鳴子踊り」を楽しむとともに地域の人々との交流・親睦を図る。	61人
健康診断	9月	利用者の健康管理・健康保持「定期健康診断・血液検査・心電図・問診」（健診車検査あり）	61人
みらくる♪笑顔の会（生活）	9月	レクリエーションを行い、職員と利用者・保護者との交流を深める。	61人
消防訓練（総合福祉センター）	9月 2月	通報訓練・避難訓練・消火訓練 年2回以上（火災・地震・水害のいずれかを想定）	61人
避難訓練（はあとぴあ福祉作業所）	10月 2月	緊急時の大きな環境の変化を繰り返し体験し、実際の災害時に慌てず安全に避難できるよう実施。（火災・地震・水害のいずれかを想定）シェイクアウト訓練の実施。	61人
日帰り課外体験研修	10月 11月	日帰り課外体験研修を通し、施設外での社会体験、社会のルールの習得を図る。また、気分転換を図ることで、日々の生活の活性化を目指す。	61人
赤い羽根共同募金街頭募金	10月	街頭募金を通じて社会参加を促し、奉仕活動を行う。	61人
個別面談	11月 12月	これまでの評価と今後の支援内容を決定する面談を利用者・保護者・職員で行う。	120人
新年交流会（就B）	1月	レクリエーションを行い、職員と利用者・保護者との交流を深める。	59人
みらくる♪笑顔の会（生活）	1月	レクリエーションを行い、職員と利用者・保護者との交流を深める。	61人
利用者満足度調査	2月	施設運営に関するアンケート調査	120人
みらくる♪笑顔の春（生活）	3月	レクリエーションを行い、職員と利用者との交流を深める。利用者の1年の振り返りと今後の目標を話し合う。	31人
内科健診	3月	健康管理・健康保持のための医師による診察・問診	61人
お疲れ様会（就B）	3月	1年の労をねぎらうとともに次年度の通所・作業への意欲向上を目的とし、茶話会を行う。	30人
施設通信（通年）	1回/月	施設だより 就B：あすのび通信、生活：みらくる通信の発行・配布	——
誕生日会（通年）	1回/月	喫茶での飲食、売店での買い物、誕生日カード作成で誕生日をお祝いする。	61人
生活習慣病予防事業（通年）	1回/月	生活習慣病予防準備の利用者を対象に運動を行い、健康・体力の増進を図る。 ※外部講師による実施事業	1回約19人
精神科診察（通年）	1回/月	利用者本人の安定を図るとともに支援方法の助言をいただくことを目的に、医師による診察を精神的に不安定な利用者に行う。また、保護者が相談できる場とする。	1回約1人
理学療法（生活）	1回/月	利用者の基本能力・応用能力・社会生活適応能力の維持、改善を目的とし、理学療法士による機能訓練を行う。支援方法についての指導をいただく。	月約2人
作業療法（生活）	1回/月	利用者の基本能力・応用能力・社会生活適応能力の維持、改善を目的とし、作業療法士による機能訓練を行う。支援方法についての指導をいただく。	月約4人
音楽療法（生活）	1回/月	コミュニケーションの相互作用を促し、感情表現、言語の表出を高める等、楽しみながら生活の質の向上を図ることを目的とし、外部講師が楽器演奏、歌唱指導を行う。	月約10人
感覚統合療法（スノーズレン）（生活）	随時	感覚的能力の向上、心身の安定を目指し、潜在能力を発揮できることを目的とし、感覚刺激空間を提供する。	
健康増進体操（生活）	1回/月	身体を動かすことで心身の活性化を図るとともに、健康の維持・増進を目的として、外部講師による体操を行う。	月約21人

社会生活力勉強会（通年）	5回/年	社会生活をするうえでの基本的なルールやマナーの習得や自立意識の醸成を図る。 ※外部講師による実施事業	1回約14人
あすのび余暇活動（就B）	数回/年	施設内でレクリエーションや外出による社会体験を行う。	30人
季節行事（生活）	数回/年	季節のレクリエーションを通じて心身の活性化を図る。	31人
グループ外出（生活）	数回/年	グループに分かれての余暇活動	31人
売店「はっぴい」の運営（通年）	毎週火～金	売店業務で施設外部との関わりを通じ、利用者の社会性を養う。また、施設の取組みの周知も兼ねて外部出店を行う。	——
喫茶室「お花畑」の運営（通年）	毎週火～金	喫茶業務で施設外部との関わりを通じ、利用者の社会性を養う。また、施設の取組みの周知も兼ねて外部出店を行う。	——
T S テック カフェ売店「ル・クール」の運営（通年）	毎週月～金	市内の企業T S テック内の社員食堂にて売店カフェの運営をあさか福祉作業所と共同で行う。	——
実習の受入	随時	社会福祉士実習、介護等体験、支援学校等の実習生	——
施設見学の受入	随時	支援学校、相談事業所、他障害者施設等からの紹介	——

③ はあとぴあ障害者就労支援センター事業 令和6年度事業報告

(4月～3月)

◎利用者支援

利用者支援では、就職準備支援として求職条件の整理や訓練施設の情報提供、履歴書の作成や面接同行等を行いました。就職後の支援(職場定着支援)としては、職場訪問や面談を行い安定した就労のための相談や事業所との調整を行いました。その他、事業所にて仕事を体験させていただく職場実習や、離職時・離職後の手続き等の支援、就業生活を充実させるための生活支援として生活に関する相談を行いました。

<利用者数>

	身体障害者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
登録者数 (4月～3月の間に登録した人)	3人	4人	13人	0人	20人
支援等利用延べ人数 登録前の相談(電話・来所) 就職準備支援 職場見学支援 職場実習支援 職場定着支援 離職時・離職後支援 生活支援	194人	643人	1,210人	14人	2,061人
就職者数 (4月～3月の間に就職した人)	4人	11人	17人	0人	32人

◎就職職種

- ・身体障害者・・・事務、品出し、清掃、A型
- ・知的障害者・・・事務、品出し、軽作業、調理、水耕栽培、清掃
- ・精神障害者・・・事務、軽作業、水耕栽培、清掃、A型

◎事業所・関係機関との連携

事業所との連携としては、これまで関わりの無かった企業に対して障害者雇用について相談を行う新規事業所開拓を行っております。また、一般就労の拡大と自立した社会参加を進めるために、ハローワーク、就労訓練事業所、学校、病院等の関係機関と連携を図りました。特に生活課題が多い利用者に関しては、就労の安定を図ることを目指して、同じ課内であることの利点を生かして、はあとぴあ障害者相談支援センターとの連携を強化し、生活面の課題を軽減させることに繋がりました。

新規事業所開拓	25件
雇用・実習相談	845件
関係機関との連携	687件

◎職員研修・普及啓発

ジョブサポーター研修、就労支援センター等連絡協議会、発達障害に関する研修等に参加するだけでなく、朝霞市社会福祉協議会が運営する利点を生かし、はあとぴあ障害者相談支援センターと合同による会議や研修を実施しました（るくるん会議）。結果、市内の障害者の状況や福祉サービスを含む情報等の共有とともに、利用者のニーズに対応した相談支援を行うための資質向上に繋がりました。

調査研究・普及啓発	130件
るくるん会議	6回

<るくるん会議>

実施計画	実施日	内容	参加人数	講師等
4月	4月17日	接遇・就業規程・個人情報保護等	10人 (内部)	内部講師
6月	6月19日	障害年金について	54人 (外部34人・内部20人)	前田労務管理法務事務所
10月	10月11日	依存症について	26人 (外部17人・内部9人)	埼玉県立精神保健福祉センター
12月	12月11日	障害者の就労について	49人 (外部34人・内部15人)	埼玉県立さいたま桜高等学園 株式会社ヤオコー
1月	1月17日	権利擁護について (親亡き後、成年後見) 市民向け講座	58人 (外部41人・内部17人)	行政書士いけだ法務事務所
3月	3月21日	虐待研修（伝達研修）	9人 (内部)	内部講師

◎生活支援（余暇支援）事業

就業している人が仕事を続けるうえで必要な仕事以外の楽しみを持ち、仕事と生活の充実に繋がるよう支援をしました。

①朝霞市ふれあいスポーツ大会 9月28日(土) 朝霞市総合体育館

日時：9月28日（土）

場所：朝霞市総合体育館

参加：7名

②はあとぴあふれあい祭り周知

周知方法：郵送・X投稿

③社会生活力向上支援

内容：障害のある方が一人暮らしをするために（調理実習）

日時：3月18日（火）

場所：朝霞市総合福祉センター 調理実習室

参加：8人

講師：管理栄養士（内部講師）

③ はあとぴあ障害者就労支援センター事業 令和7年度事業計画

1 運営方針

市内在住の障害のある人に対し就労支援と生活支援を総合的に行うことにより、一般就労の拡大を図るとともに、自立と社会参加を促進することを目的に事業を実施します。

2 研修計画

利用者のニーズに対応した相談支援をするために、職員の資質向上を日常的に図るとともに執務上必要な基礎知識を習得し、職場への適応力を養うため、一般研修、派遣研修、職場研修、自主研修に取り組みます。

①外部研修

ジョブサポーター研修（ベーシックコース・アドバンスコース）、
障害者の就労支援に関する基礎的研修、就労支援センター等連絡協議会、
発達障害に関する研修等。

②法人内研修

新任職員研修、接遇研修、ファシリテーション研修、事例検討等。

3 地域との連携、他施設との連携

朝霞市社会福祉協議会が運営する利点を生かし、法人内の事業所と綿密な連携を図るとともに、各関係機関への各種連携や普及活動をすすめます。

①るくるん会議（はあとぴあ相談支援センター、就労支援センター合同）

年3回合同での会議及び研修会を実施します。

<るくるん会議>

実施月	内容	講師等
4月	職員紹介・就業規程・個人情報保護・接遇マナー等	内部講師
8月	障害者の就労について	外部講師
10月	権利擁護について(親亡き後、成年後見)市民向け講座	外部講師

②普及啓発活動

- るくるん会議の中でも、年2回の研修会では、市内関係機関や障害のある方の保護者にも周知をし、参加を呼びかけます。
- 各関係機関や利用者団体等への訪問、及び広報での宣伝を実施します。
- 各支援学校との進路会議に出席して、教員及び卒業年次生への周知を図ります。
- 県雇用総合サポートセンターとの連携を強化し、市内の雇用率未達成企業情報の収集と、アプローチ（パンフレット配布・訪問）を図ります。
- 障害のある人の就労について、広く住民に周知にも周知、啓発し、理解の促進を図ります。

4 生活支援(余暇支援)事業の実施

就業している人が仕事を続けるうえで必要な仕事以外の楽しみを持ち、仕事と生活の充実につながるよう支援します。

- ①朝霞市ふれあいスポーツ大会への参加案内及び参加
- ②余暇活動に繋がる情報の提供
- ③はあとぴあ相談センターと合同で、社会生活力を高め、地域で生活するうえで必要なスキルを身に着けるための講座等(社会生活力向上支援)を開催。

実施月	内容	講師等
7月	身だしなみ講座（男性向け）	外部講師
12月	内容未定（SNS、消費者被害について）	外部講師

④はあとぴあ障害者相談支援センター事業 令和6年度事業報告

(4月～3月)

◎利用対象者

朝霞市にお住まいで心身の発達に心配のあるお子さんや、身体・知的・精神障害等のある方と
そのご家族を支援しています。

1. 基本相談（委託相談）

◎相談件数の障害種別内訳

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
延べ人数	48人	0人	362人	608人	27人	17人	147人	1,209人

◎相談件数の内容別内訳

区分	合計
福祉サービスの利用等に関する支援	638
障害や病状の理解に関する支援	236
健康・医療に関する支援	125
不安の解消・情緒安定に関する支援	567
保育・教育に関する支援	50
家族関係・人間関係に関する支援	128
家計・経済に関する支援	77
生活技術に関する支援	59
就労に関する支援	32
社会参加・余暇活動に関する支援	16
権利擁護に関する支援	27
その他	69
合計	2,024件

◎関係機関との連携（市内・市外）

連携先：医療機関・行政機関・通所事業所・就労機関・生活サポート事業所
相談支援事業所・短期入所事業所・ヘルパー事業所等

関係機関（他市地域所在含む）との連携	536件
--------------------	------

2. 計画相談（契約者）

◎契約者数

	障害者	障害児	合計
合計人数	124人	79人	203人
		相談件数	3,608件

◎るくるん会議（はあとぴあ障害者相談支援センター・就労支援センター）

同じ法人で運営する利点を生かして就労支援センターと合同による会議会や研修を実施しました。
併せて、市内相談事業所や福祉サービス事業所などへの研修の機会の提供をおこない、顔の見える
関係づくりと情報共有や統一した支援などの資質向上につながりました。

実施計画	実施日	内容	参加人数	講師等
4月	4月17日	接遇・就業規程・個人情報保護等	10人 (内部)	内部講師
6月	6月19日	障害年金について	54人 (外部34人・内部20人)	前田労務管理法務事務所
10月	10月11日	依存症について	26人 (外部17人・内部9人)	埼玉県立精神保健福祉センター
12月	12月11日	障害者の就労について	49人 (外部34人・内部15人)	埼玉県立さいたま桜高等学校・株式会社ヤオコー
1月	1月17日	権利擁護について（親亡き後、成年後見）市民向け講座	58人 (外部41人・内部17人)	行政書士いけだ法務事務所
3月	3月21日	虐待研修（伝達研修）	9人 (内部)	内部講師

◎社会生活力向上支援

講座「障害のある人が一人暮らしをするために」（調理実習）

日時：3月18日

場所：朝霞市総合福祉センター調理実習室

参加：8名

講師：内部講師（管理栄養士）

◎土曜日開所

4月20日、6月15日、8月17日、10月19日、12月21日、2月15日

合計6日

④ はあとぴあ障害者相談支援センター事業 令和7年度事業計画

1 運営方針

特定相談支援・障害児相談支援のサービス等利用計画の作成及び委託相談支援として障害のある方やその家族等の地域における各種相談に応じるとともに、地域生活を送る障害者の相談ニーズに応えられるよう、事業等を実施します。

2 研修計画

利用者ニーズへの的確に対応した相談支援を実施するため、職員の資質向上を日常的に図るとともに、以下のように外部・内部研修を実施します。

① 外部研修

相談支援従事者初任者研修、相談支援従事者現任者研修、感染症予防基礎研修、カスタマーハラスメント研修、発達障害に関する研修、強度行動障害支援者養成研修、埼玉県医療的ケア児等コーディネーター養成研修等。

② 法人内研修

新任職員研修、接遇研修、虐待防止研修等。

3 地域との連携、他施設との連携

朝霞市社会福祉協議会が運営する利点を生かし、法人内の事業所と綿密な連携を図るとともに、市内の各関係機関への各種連携や普及啓発活動をすすめます。

① るくるん会議（はあとぴあ相談支援センター、就労支援センター合同）

年3回 合同での会議および研修会を実施します。

<るくるん会議>

実施月	内容	講師等
4月	職員紹介・就業規程・個人情報保護・接遇マナー等	内部講師
8月	障害者の就労について	外部講師
10月	権利擁護について（親亡き後、成年後見）市民向け講座	外部講師

② 普及啓発活動

○るくるん会議の中でも、年2回の研修会では、市内関係機関や事業者にも周知をし、参加を呼びかけます。これにより、顔の見える関係の構築と、地域連携として、総合的なサービスの提供を目指します。

○10月の権利擁護研修会は広く市民にも周知を行い、障害のある子を持つ親等を対象に親亡き後の成年後見について研修会を行います。

○就労や学業、保護者の就労などにより、平日の来所などが難しい方への相談に対応するため、土曜日開所を行います。（開所日について不定期）

○SMSやLINEといったコミュニケーション手段を積極的に活用することで、利用者の支援や心身の状況や利便性に応じた支援体制の充実を図ります。

③ 委託相談事業所

市民を対象に入所施設等の施設見学会や、外部講師を招いた研修会を市内の相談支援事業所や障害サービス事業所等も対象に行います。これにより、地域の社会資源の発掘や連携体制の構築、専門的な対応を行うことができる体制の確保や人材の育成を目指します。また、今年度設置される基幹相談支援センターへスムーズな引継ぎを行い、今後も委託相談事業所として、市内の特定相談事業所とともに体制強化を図ります。

④ 社会生活力向上支援

就労支援センターと合同で、社会生活力を高め、地域で生活するうえで必要なスキルを身につけるための講座等を開催します。

<社会生活力向上支援>

実施月	内容	講師等
7月	身だしなみ講座（男性向け）	外部講師
12月	内容未定（SNS、消費者被害について）	外部講師